

知と美の空間で

司書資格取得を目指すあなたへ



SEITOKU

聖徳大学 | 司書・司書補講習

講義中スマホ等利用自由 音出し禁止

図書館司書補講習 「生涯学習概論」

2020/07/27・28

9:00～16:15

図書館司書補講習
「生涯学習概論」

- 若者文化研究所 西村美東士
- <http://mito3.jp>
- 検索語 若者文化研究

ソーシャルディスタンス確保、 三密回避のために

- 対面式ワークショップは行いません。
- 質問はネットを通して行ってください。

若者文化研究所ホームページ

→双方向通信コーナー

login : seitoku

pass : seitoku****

****の部分は直接お知らせいたします。

7月27日 9:00～10:30

内容	項目	7月	開始	終了	時間	課題シート
導入	科目のミッション、資格取得基準、現代社会は何を求めているか	27日	09:00	09:15	00:15	
	計画、ねらい、評価の設定、概要、方法、アンケート記入		09:15	09:30	00:15	
	講師紹介「私と生涯学習」「私と図書館」		09:30	10:00	01:30	「私と図書館」

課題「私と図書館」 提出27日10:30

【自分と図書館との関係】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

本講義の概要

目的

生涯学習推進の意義と方法を理解し、図書館としてできること、司書としてできることを、説明できるようになる。

目標

1. 生涯学習の魅力について、自分の言葉で説明できる。
2. 生涯学習推進に果たす図書館の役割について、自分の言葉で説明できる。
3. 図書館によるボランティア育成の意義と可能性を、自分の言葉で説明できる。

◆資格取得基準

試験の内容と方法

司書補講習 個人ワークシート：試験用紙と一緒に提出してください。

番号 氏名

1 仕事に求める価値
貢献ばかりを求めるリーダーへのあなたの見解を書きなさい。

人間関係を重んずるあまり、意見を言い合わない若者へのあなたの見解を書きなさい。

2 教育とは何か。
これからの学校教育のあり方について、あなたの見解を書きなさい。

図書館に求められる利用者及び職員間の教育作用について、あなたの見解を書きなさい。

3 社会教育と指導者
セールスのポイント（顧客視点）について、
図書館司書の観点から、他の社会教育指導者へのアドバイスと、他の社会教育指導者から学びたいことを書きなさい。

4 生涯学習推進のための手この手
個人化と社会化の一体的支援のため、図書館及び図書館以外の行政が講ずべき手段を列記せよ。

課題シートの提出、講義中に作成して提出。
最終テスト 暗記不要。目標に沿った出題。

講師紹介

1. 若者に対する働きかけ
2. 学校教員との出会い
3. 図書館職員との出会い
4. 大学における授業法
5. 社会教育指導者の実践研究
6. 居場所での若者との出会い

むさしのインフォメーションサービス



1982/7/31 むさしのインフォメーションサービス—今までにわかったこと、わからないこと

①さまざまな分野の人から横断的に学ぶこと、②情報提供の意義と課題、③情報整理の方法と工夫について、重要性が明らかになった。そこで、本青年の家では、「むさしのインフォメーションサービス」を意識的に開始した。そこでは、これまでの講師から学んだことを生かし、「ナマ」の「今日的」な情報に重きを置きたいと考えている。東京都武蔵野青年の家所報『しいのみ』31号

<http://mito3.jp/seika/0180.pdf>

青少年問題に関する文献データベース

<http://mito3.jp/ydb/>

文献検索システム

■ データ全体から検索 [ここをクリック](#)

青少年問題に関する文献データベースについて
Database of Documents on the Youth Issues (DDYI)

研究代表者 聖徳大学（前徳島大学大学開放実践センター）教授 西村美東士

このデータベースは、今日の青少年問題の動向とその対応との関連を、関連する文献の網羅的調査やキーワード分析などの実証的検討を通して究明することを目的としています。

青少年関連行政の職員や団体関係者、その他広く研究者、関係者の皆様のご利用、及び、ご著書データのアップロード等のご協力をお待ちしております。

なお、政治・宗教・営利に関わるデータなどについては当方の判断で掲載しないこともありますのでご了承ください。

このデータベースは日本学術振興会の平成14、15、16年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付をうけて作成されました。

[より詳しい説明](#)

[解題執筆者紹介・青少年問題ドキュメンテーション研究会委員名簿](#)

大学教授法入門

—大学教育の原理と方法



学習とは、究極的には、学習者個人が学習しようとしてこそ成立しうるものであり、教育はその営みを促進することができるからこそ存在しているはずだ。だとすれば、大学が社会教育から得るものは大きい。なぜなら、社会教育は、学習者の主体性を尊重しながら、その主体性が発揮されるようどう仕掛け、どう援助するかについて、真正面から取り組んできたからである。ママさんコーラスという支持的風土の集団づくりとその中での相互学習の成果なども、その一つである。

実際、ロンドン大学では、小集団討議法やグループワークなどの教授法を大学の教員を対象にしてトレーニングしている（「大学教授法入門」玉川大学出版部）。教員は立派な研究者であるとともに有能な教育者でなければならないからである。

1991/11 生涯学習と大学を考える、全日本社会教育連合会『社会教育』46巻11号、pp.28-29

<http://mito3.jp/seika/0640.pdf>

狛プー「講師のいない料理教室」

筆者は、1992年の立上げから現在に至るまで、前出「狛プー」(狛江市中央公民館青年教室)に関わってきた。そこでは、「職業や学業があっても、プータローの自由な精神を」と呼びかけ、参加、参画、不参加の自己決定を保証したうえで(「1年に1回来ればメンバーだ」)、「面白い仲間と出会おう」と提唱した【狛プー&癒しの生涯学習】。

ただし、その頃にはすでに、過去の青年教育における「若者の集い」などの達成能力目標が設定されていない青年事業には若者が集まらなくなっており、メンバーと相談して「講師のいない料理教室」、「紙芝居教室」などのスキル習得型月替りプログラムを展開した。

それにもかかわらず、若者が実際にそこで獲得した一番の能力は、「他者と出会う能力」だといえる。筆者としては、「居場所における自然な対話」を想定していたが、それよりも、レシピを担当したメンバーの一生懸命な気持ち、紙芝居講師のおじいちゃんの指導をせずに自分の出番のための準備をする没入度、メンバーの紙芝居に入れるアドリブのセンス、そういうことへの気づきの体験が、異質と交流する態度を育てていった。そういう意味では、「無目的な居場所論」を超える「目的的な青年教育」の意義が本当はあったのだと感じる。その本質的目的とは何なのか。

■ 2015年10月号『社会教育』青年教育研究30年から見えてくるもの—個人化を育む社会化支援教育の今日的課題

<http://mito3.jp/syohyou/mitoron/3440.html>



7月27日 10:45～12:15

◆生涯学習・生涯教育論の 展開と学習の実際	◆生涯学習の実際	27 日	10: 45	10: 55	00: 10	
	学習:学習会か勉強会か		10: 55	11: 10	00: 15	
	文化:文化の格差		11: 10	11: 25	00: 15	
	スポーツ:本当は単独行が好きなのに・・・山歩きサークルリーダー		11: 25	11: 40	00: 15	
	【写真】レクリエーション:レクリーダーのラダー		11: 40	11: 55	00: 15	
	ボランティア 揺さぶり→意味ある出会い、異質との出会い		11: 55	12: 15	00: 20	「図書館ボランティアマニユアル目次と概要」

課題「図書館ボランティアラダー」 提出27日12:15

【図書館ボランティアラダー】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

図書館ボランティアのラダー（はしご）

図書館の仕事について写真を見ながら、ボランティアの活躍の余地とラダーを考えてみよう。

- 本のプロフェッショナル「図書館員」編

<https://lab.p-press.jp/report/report26.html>

学習か勉強か



社会教育関係者の間には、「勉強」という言葉は「つとめしいる」だから強制的な意味合いが強いと決めつけ、それに比して「学習」という言葉は即主体的行為であるから好ましいとする議論がある。これについて触れておきたい。

「学習」の「学」はすでに述べたように「臼」(両方の手)で知識を授けられることであり、「まねぶ」(まねをする)ことでもある。「習」の「羽」と「白」は「ひな鳥がくりかえしはばたいて飛ぶ動作を身につける意」であるから、「ならう、なれる」ことである。たしかに、「学習者側からの表現」と言うことはできるが、与えられた「教育目標」に対しては無批判的に受け入れることを前提とした言葉であると言えなくもない。「学習会」などというと、無意識のうちにもどうしてもそういうニュアンスで感じとられてしまうのではないか。

これに対して、「勉強」という言葉については、「勉強会ブーム」やパソコン通信のアーティクル(通信記事内容)にしばしば見かける「私も勉強しておきます」などの表現に、新しい意味を見いだすことができる。「勉強」の「勉」は、「力」(りきむこと)と「免」(女がしゃがんで出産するさまの象形)である。「無理をおしてはげむ」ことである。「強」も「無理をおす」という意味である。その語感に軽やかな楽しさがないのは否めないが、他者からの強制を必然的にともなうものという意味は含まれていない。ここで、「学習」という言葉をしいて「勉強」に置き換えようと提言しようとするわけではないが、市民の「勉強志向」をあなどらずに援助することの必要については強調しておきたい。

1991/4 「生涯学習か・く・ろ・ん — 主体・情報・迷路を遊ぶ —」学文社

http://mito3.jp/kakuron_all.txt

文化の格差

西原氏は、「姫キャラ」を含めた広義のプリンセスについて、三〇代、四〇代の女性が社会貢献活動などによる努力型であったのに対して、一〇代後半から二〇代は、「生まれながらの」自分らしさ表現型だと言う。そこでは、「男性から見られる」という意識から解放され、「女子としての自分」という満足があるというのだ。永田夏来氏は、量的調査の結果から、「夏フェス女子」は、幼少期に美術館・博物館訪問やクラシック視聴を経験した者が多いと言う。そして、このような「文化資本の高い女性」が、「夏フェス」での写真写りの良さと「かわいい」をネットで発信しているという。以上の楽しみを、吉光氏は、「心躍ることや心囚われることに尽きない現代人の暮らし」と表現している。

ブック

この本は、「かわいい」が、古典的な女らしさから、自分らしく生きたいと願う女子たちの希望の表れに変わったとして、ゲーム、ロック、歴史、ハロウィン、メイド、島ガールなどで

池田氏は、女性の活動領域の拡大など、社会がより多様性を求める時に必要となる感性ととらえる。従来の男性的とされてきた領域に、もっと別のセンスや価値観を持ち込むことによって、男女とも心地よくその領域に関われるようになると思うのだ。

西原氏は、「姫キャラ」を含めた広義のプリンセスについて、30代、40代の女性が社会貢献活動などによる努力型であったのに対して、10代後半から20代は、

「生まれながらの」自分らしさ表現型だと言う。ここでは、「男性から見られる」という意識から解放された「女子としての自分」の満足があるという。永田夏来氏は、量的調査の結果から、「夏フェス女子」は、幼少期に美術館・博物館訪問やクラシック視聴を経験した者が有意に多いと言う。そして、このような「文化資本の高い女性」が、「夏フェス」での写真写りの良さと「かわいい」をネットで発信しているという。以上を、吉光氏は、「心躍る楽しみ」と表現している。評者は考える。人には個人や社会人としての成長とは別に、そのこと自体が癒しや「心躍る楽しみ」になる時間が大切だ。それが社会における新しい価値や文化の創造につながる。しかし、そこに格差があるとすれば、教育は、貧困な子どもに対して、文化資本提供の手を差し伸べることも考えたい。

(聖徳大学教授・西村美東士)

ポスト〈カワイイ〉の文化社会学
女子たちの「新たな楽しみ」を探る

吉光正絵、池田大臣、西原麻里 編著
3780円 ミネルヴァ書房
☎075-581-5191



ポスト〈カワイイ〉の文化社会学
—女子たちの「新たな楽しみ」を探る—
<http://mito3.jp/syohyou/html/3670.html>

登山はなんといっても単独行！！と
葛飾区生涯学習推進委員の山歩き
サークルリーダーは答えた。
本当は単独行が好きなのに・・・なぜ？



ボランティア 異質との出会い

大学生については、氏は他著で、社会人調査の結果から、大学在学時に「勉学第一」とした者は、仕事では良い成果を出していないと指摘している。組織での成功のためには、学生時代に「良好な友達づきあい」以上の質の「豊かな人間関係」による、異質な他者からの影響が大きいというのだ。

<http://mito3.jp/syohyou/html/3470.html>



ブック

3年に全国の高校2年生約4万5千人から回答を得た。その後、大学1、2、4年、社会人3年目の、約10年間の追跡調査を行うことにしている。

本書のキーワードは（学校から社会への）「トランジション」（移行）である。「教室外学習」「対人関係・課外活動」「キャリア意識」の重要性が示唆されたという。また、対人関係力の弱い生徒は、知識習得型からアクティブ型への学習の「拡張」についていけないという新たな仮説も提示している。

溝上氏は、クラスター分析により、「勉学」、「勉学その他」、「部活動」、「交友通信」、「読書マング傾向」、「ゲーム傾向」、「行

溝上氏は高校生の学習や生活が、大学での学びや社会に出てからの仕事や人生に与える影響を明らかにするため、201

溝上慎一 責任編集／京都大学高等教育研究開発推進センター・河合塾 編
2592円 学事出版 ☎03-3255-5471

どんな高校生が大学、社会で成長するのか

「学校と社会をつなぐ調査」からわかった伸びる高校生のタイプ

著 溝上慎一
京都大学高等教育研究開発推進センター・河合塾 編

どんな高校生が大学、社会で成長するのか

評者は、高校生から大学生への「移行」において、部活動の積極性を超えたレベルでの自己開発と社会的関与に関する態度変容が求められるのではないかと思ふ。

（聖徳大学教授・西村美東士）

事不参加のフタイプを導き出す。勉学タイプは、8割が部活動と両立しており、「よく学び、将来に向けて頑張り、自己成長を実感している」タイプとされる。しかし、大学生については、氏は他著で、社会人調査の結果から、大学在学時に勉学第一とした者は、仕事では良い成果を出していないと指摘する。組織での成功のためには、学生時代に良好な友達づきあいや以上の質の豊かな人間関係による、異質な他者からの影響が大きいというのだ。どちらも実感できる話だ。

氏は、勉学タイプにおける部活動と学習の両立が大学生になってからの主体的態度につながるかどうかを今後の追跡調査の課題としている。

7月27日 13:00～14:30

◆生涯学習とは何か	2 7 日	13 :0 0	13 :1 0	00 :1 0	
自己管理型学習		13 :1 0	13 :4 0	00 :3 0	「自己管理型学習の 難しい点」 受講者 発信
学び合いと支え合い:社会形 成者としての成長		13 :4 0	14 :0 0	00 :2 0	
教育の復権:「教育とは何 か」の追求から		14 :0 0	14 :3 0	00 :3 0	「私の受けてきた教 育に対する疑問」 30 分
	休 憩				

課題「教育に対する疑問」 提出27日14:30

【私の受けてきた教育に対する疑問】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

「教育とは何か」を考えよう 1

西村美東士「生涯学習と市民参加」、望月雅和『子育てとケアの原理』第6章、2018年4月13日、北樹出版

(以下たんに自著「生涯学習と市民参加」と呼ぶ)

私たちは子どもの頃から自然と「教育」を受けているが、実は「教育とは何か」と問われると、よくわからなくなる。それは、学校教育だけを見て、教育を語ろうとしているからではないだろうか。

教育とは、学校以外にも家庭、地域、職場、社会のさまざまな身近なところで、人が生きる上での大切な側面を扱ってきた活動である。それらの教育の中心にいる個人は、時には教育に疑問を感じ、時には教育を受け止めて成長する。

「教育とは何か」を考えよう 2

青少年について見てみると、彼らが自らの考えかたを確立し、社会にどうかかわるか、ポジショニング（位置決め）支援が求められている。そのほか、われわれの調査研究からは、1人で生き、1人で課題を解決するという個人完結型から、個人は社会のかかわりを大切にする社会開放型に転換することが大事だということもわかってきている。こうしたテーマにもふれながら、教育とは何か、生涯学習とは何かという本質に接近していきたい。



生涯学習とは何か

- 人々が自己のものの見方・考え方を生涯にわたる学びによってより発展させ、暮らしや仕事を充実させる自己決定の活動。
- 同時に、たがいに学びあい、支えあうことによって、地域や社会を形成する相互関与の活動。

生涯学習と生涯教育

昭和56(1981)年中央教育審議会答申『生涯教育について』

生涯学習 「今日、変化の激しい社会にあって、人々は、自己の充実・啓発や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。これらの学習は、各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段・方法は、これを自ら選んで、生涯を通じて行うものである。その意味では、これを生涯学習と呼ぶのがふさわしい。」

生涯教育 「この生涯学習のために、自ら学ぶ意欲と能力を養い、社会の様々な教育機能を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備・充実しようとするのが生涯教育の考え方である。言い換えれば、生涯教育とは、国民の一人一人が充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習を助けるために、教育制度全体がその上に打ち立てられるべき基本的な理念である。」

「学習」の独走

臨教審(昭和59(1984)～62(1987)年)「ここでは学校教育および職業能力開発に関する学習活動のほか、スポーツ活動、文化活動、趣味・娯楽、ボランティア活動、レクリエーション活動など、人間が生涯にわたって豊かに生きていくため自ら向上を目指したり、活動自体に楽しみを見い出す主体的な活動を『学習』としてとらえた」(臨時教育審議会『審議経過の概要その3』第2章、昭和61(1986)年)。

生涯学習の定義

自己管理型学習 (Self-Directed Learning)

平成2年(1990年)中教審答申

「生涯学習の基盤整備について(答申)」

- 1) 生涯学習は、生活の向上、職業上の能力の向上や、自己の充実を目指し、各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであること。
- 2) 生涯学習は、必要に応じ、可能なかぎり自己に適した手段及び方法を自ら選びながら生涯を通じて行うものであること。
- 3) 生涯学習は、学校や社会の中で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、人々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動などの中でも行われるものであること。

成人教育の前提

ペダゴジーとアンドラゴジー(M.ノールズ「成人学習者」1973年)

[理論的前提]	{ペダゴジー}	{アンドラゴジー}
○自己概念	依存性 dependency	増大する自律性 self-directiveness
○経験	役立たない	豊かな学習資源である
○レディネス	生物学的発達 社会的圧力	社会的役割の発達課題
○時間的展望	待時性	即時性
○学習への導入	科目中心	課題中心
[学習場面の構成]	{ペダゴジー}	{アンドラゴジー}
○学習環境	権威志向 フォーマル 競争的	相互協力 インフォーマル 共働的・他を尊重
○計画立案	教師による	相互的な立案
○ニーズの診断	教師による	相互的な自己診断
○目標設定	教師による	相互的な協議
○学習様式	科目の論理 内容単元	レディネスに対応 問題単元
○学習活動	伝達の技術	実験的方法(探求)
○評価	教師による	相互的なニーズの再診断 相互的なプログラム測定

7月27日14:45～16:15

◆ 教育の原理	主体性を育む教育を 求めて（学習は本来 個人的事象）	2 7 日	1 4 4 5	1 5 0 0	0 0 1 5	
	【書評】 【映像】 イ エナプラン		1 5 0 0	1 5 4 5	0 0 4 5	
	【書評】 【映像】 麴 町小学校の非常識		1 5 4 5	1 6 1 5	0 0 3 0	「従来の教育の 問題点」

課題「従来の教育の問題点」 提出27日16:15

【従来の教育の問題点】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

イエナプランという新しい教育

閉鎖的な思考に向けた教育から包括的な思考に向けた養育へ、学校現実の非人間性と非民主制から人間化と民主化へ、対話なき教室から対話へ、機械的教育から教育の人類学化へ、非真正(偽物)から本物へ、不自由から自由へ、批判的思考をしないようにする教育から批判的思考に向けた養育へ、非創造性から創造性へという教育の転換を実現しようと主張する。

保護者については、子どもと同様に、対話・遊び・仕事・催しを通して、学校参加が促されると言う。本書の言を借りれば、学校が、地域の人々にとっての「生と学びの共同体」になることこそ、学社融合の今後の姿なのだろうと評者は考える。



本書は、グローバル時代において、シチズンシップ(市民的態度)を学習させることの重要性を説く。「主体的・対話的で深い学び」については、子どもたちの活動の必要に応じて教室内や学校内を自由に主体的に動くことを保障するとともに、静かに一人で学ぶための場所や時間を意図的に用意する。このような動きと選択の自由が、責任意識や自治につながり、学びのオーナーシップ(当事者意識)を生むことを目指している。

また、学校を「ありのままの社会の姿を映し出す鏡」として、社会のあらゆる階層の人々が集まる社会にしようとする。そのため、学校を、子どもを中心として、子どもたちの育みに関わっている大人たちとともに構成される「生と学びの共同体」として、未来の理想的な社会を先

本書は、グローバル時代において、シチズンシップ(市民的態度)を学習させることの重要性を説く。「主体的・対話的で深い学び」については、子どもたちの活動の必要に応じて教室内や学校内を自由に主体的に動くことを保障するとともに、静かに一人で学ぶための場所や時間を意図的に用意する。このような動きと選択の自由が、責任意識や自治につながり、学びのオーナーシップ(当事者意識)を生むことを目指している。



今こそ日本の学校に!
イエナプラン実践ガイドブック

保護者については、子どもと同様に、対話・遊び・仕事・催しを通して、学校参加が促されると言う。本書の言を借りれば、学校が、地域の人々も含めた「生と学びの共同体」になることこそ、学社融合の今後の姿なのだろうと評者は考える。

◎前聖徳大学教授・西村美東士

リヒテルズ直子 著
2420円 教育開発研究所
☎03-3815-7041

取りし実現しようとする。他方、健全であるべき育ちが、むやみに外部からの影響にさらされることのないよう、学校の「独立」を重視する。

このようにして、閉鎖的な思考に向けた教育から包括的な思考に向けた養育へ、学校現実の非人間性と非民主制から人間化と民主化へ、対話なき教室から対話へ、機械的教育から教育の人類学化へ、非真正から真正(ホンモノ)へ、不自由から自由へ、批判的思考をしないようにする教育から批判的思考に向けた養育へ、非創造性から創造性へという教育の転換を実現するよう訴える。

リヒテルズ直子『今こそ日本の学校に! イエナプラン実践ガイドブック』教育開発研究所2019/8/30
<http://mito3.jp/syohyou/html/3980.html>

30

イエナプランという新しい教育

学校教育の革新 イエナプラン

日本イエナプラン教育協会ホームページ

<http://www.japanjenaplan.org/jenaplan>

検索語

イエナプラン

しなのイエナプランスクール・大日向小学校紹介

現役小学校教諭が伝えるオランダ・イエナプラン教育

イエナプランという新しい教育



しなのイエナプランスクール・大日向小学校紹介 10min

5分

4分



現役小学校教諭が伝えるオランダ・イエナプラン教育 JENA PLAN HOLLAND



オランダ・イエナプラン教育DVD「明日の学校に向かって」リヒテルズ直子 JENA PLAN

10分

麴町小学校の非常識な教え

しつけについては、次のように言う。叱る基準・しつけの優先順位を決めていけば、叱る頻度が減り、大人も子どもも不要なストレスを抱えなくてすむ。子どもとの付き合い方もかわる。さらに「本当にダメなこと」がはっきりと子どもに伝わるようになるので、子育てが楽になる。言わなくてもいいことはできるだけ言わない心がけが重要である。

著者は、「ルールを守らせることに必死な大人」に警告を発する。土曜日に重い勉強道具でも自宅勉強のために全部持ち帰るよう指導し、子どもが共有部に隠すようになると教員が必死に探し出す。著者は「そのあまりのくだらなさにあきれてしまった」と言う。学校だけで通用させている「常識」が、社会的には「あまりにくだらないこと」である危険性には十分注意したいものだと言評者も考える。



工藤 勇一 (著)
麴町中学校の型破り校長 非常識な教え
(SB新書)(2019/9/6)
発売日： 2019/9/6

<http://mito3.jp/syohyou/html/4000.html>

麴町小学校の非常識な教え



検索語 工藤勇一

7月28日 9:00～10:30

◆社会教育の内容・方法・形態 供と学習相談、評価を含む） （学習情報の提 ・テスト	社会教育の内容・方法・形態	28 日	09 :0 0	09 :1 0	00 :1 0	
	一斉集団承り型の打破 十進 法だけの世界からSNS等情報 発信へ		09 :1 0	09 :5 0	00 :4 0	「SNS活用のアイデ ア」
	学習情報の提供		09 :5 0	09 :5 5	00 :0 5	
	社会教育施設に「関係」のあ ふれた情報提供機能を		09 :5 5	10 :0 5	00 :1 0	
	学習相談 十進法だけの世界 からワンストップサービスへ		10 :0 5	10 :3 0	00 :2 5	
		休 憩	10 :3 0	10 :4 5	00 :1 5	

課題「SNS活用のアイデア」 提出28日10:30

【SNS活用のアイデア】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

一斉集団承り型の打破 十進法だけの世界からSNS等情報発信へ

「SNS コミュニティとアンバサダーで売り上げを伸ばす」
多摩美術大学教授 佐藤達郎先生より紹介を受けたページ リンク集

Dumb Ways to Die

[リンク](#)

DOVE EVOLUTION

[リンク](#)

[リンク](#)

T-mobile dance

[リンク](#)

[リンク](#)

Sony BRAVIA

[リンク](#)

[リンク](#)

祝！九州 九州新幹線全線開CM 1

80秒

[リンク](#)

[リンク](#)

Carlsberg stunts with bikers in cinema

[リンク](#)

IBM Smarter City

[リンク](#)

Southern Comfort | Beach | Whatever's Comfortable

[リンク](#)

Oreo Scores On Super Bowl Blackout

[リンク](#)

説明：Oreo が Super Bowl の停電のとき、担当者がリアルタイムにPVを発信して「得点した」。

社会教育の内容 公民館三階建て論の限界

「松戸市社会教育計画の方向性を探る」国立市公民館視察報告

聖徳大学生涯学習研究所紀要『生涯学習研究13』（2015年3月）

<http://mito3.jp/seika/3350.pdf>

1 系統的学習を頂点に置いた「三階建論」が未だに生きている

今から50年前、小川利夫は「都市社会教育論の構想」（東京都三多摩社会教育懇談会『三多摩の社会教育 I』、1964年）において、1階を体育・レクリエーションまたは社交、2階をグループ・サークルの集団的な学習・文化活動、3階を社会科学や自然科学についての基礎講座や現代史の学習についての系統的学習の拠点とする「公民館三階建論」を提起した。

そこで概念的に頂点の一つに置かれた「政治学習」は、今でも、市民参画によってしきりに講座が開催されていた。もちろん、その基本には「社交の場」（象徴的には「1階」とされる）があり、これについては、1946年の文部次官通達（寺中構想）の言う「公民館は町村民の親睦交友を深め、相互の親睦和合を培い、以て町村自治向上の基礎となる社交機関でもある」と一致するものである。

私は公民館を「住民の自治能力よりも、まずは癒しの場」とし、その条件として、第一に、「自分らしくいられる場」、第二に、公的課題の学習を契機として「社会的役割の遂行を通して社会的承認を得られる場」としたことがある（西村美東士「癒しの公民館—新しき伝統」、全日本社会教育連合会『社会教育』54巻3号、1999年）。

国立市公民館のような「先進的社会教育機関」においては、いわゆる「旧住民」のような保守層をも取り込んだ「社交の場」、「癒しの場」としての機能をどう確保するのか、そして自己完結的な「政治学習」を超えて、「郷土振興の基礎づくり」（前掲「寺中構想」）としての自らの手の届くまちづくり実践にどうつなげるのかが、課題になると感じられた。逆に松戸市の社会教育にあっては、国立市公民館のような突出的であるがゆえの問題は生じないものの、ややもすると地域と人々の仕事や暮らしの切実な課題から離れたなまぬるい学習が行われていて、先進的社会教育機関と同様に、「自らの手の届くまちづくり実践」にはつながらないという問題があると考えられる。

社会教育の方法 どのような苦勞をしてきたか 寺中構想の「伝統」を大切にしたい

1999/3西村美東士「癒しの公民館－新しき伝統」全日本社会教育連合会『社会教育』54巻3号、pp.34-37

<http://mito3.jp/seika/1690.pdf>

1癒される場としての公民館－寺中構想の再評価

2血縁・地縁から問題縁へ－水平異質共生のコミュニティ

3住民の自治能力を向上させることよりも、まず大切なのは癒しと安心－過去の学校のような集団づくりはもうやめよう

4「地域社会に役立っている私」という住民の存在確認－コミュニティに癒しを広げる公民館の公的役割

社会教育の方法 どのような苦勞をしてきたか 寺中構想の「伝統」を大切にしたい

生涯学習は個人の「どこまでも知りたい」という内発的動機に基づくもっぱら自己実現の行為といえよう。しかし、その自己実現は、社会的認知・承認の欲求の充足なくしては、ほぼ達成不可能である。その点では、マズローが社会的欲求を、自己実現の欲求や自我欲求よりも前のレベルに位置づけたことは現在でも通用する。

ただし、現代社会においては社会的欲求こそ一番満たされにくく、それゆえ多くの個人にとっては最高次の欲求にまで高まっているのかもしれない。本論も、この現代の欲求に応える公民館経営を提起しようとしたものである。

もちろん、社会的承認は、先述の3つの自己決定活動以外にも、本来、家族や職場への帰属意識などによって満たされるはずのものである。しかし、そこに頼りすぎるのがむしろ病理を生み出しているのが現代である。これに気づいた一部の市民たちが自己決定活動に踏み出しているのだろう。そこで得られるのが、社会的役割の遂行と、それによる社会的承認を実感できる社会貢献のチャンスである。そして、公的課題の学習も、公民館が地域の総合的な教育施設であるがゆえに、学習者がその学習成果を社会貢献につなげていく条件を十分に備えている。

今日、多くの若者が「自分は社会において意味のある存在である」と胸を張れない状況がある。そういう人たちに対して、「あるがままの自分が両手を広げて歓迎される」居心地よいサンマにおける癒しだけにとどまらず、さらには「地域社会に役立っている私」という究極の癒しのチャンスまでも提供する公民館であってほしい。今後の公民館活動の「究極の」ねらいは、「住民の自治能力の向上」ではなく、学習者一人一人にとっての、その二つの癒しにおくべきではないか。

7月28日 10:45～12:15

社会教育の形態 個人主体だが集団	25日	09:00	09:10	00:10	
集合学習:集会学習+集団学習		09:10	09:25	00:15	
個人学習		09:25	09:30	00:05	
学習は本来個人的事象		09:30	09:45	00:15	
学習情報の提供		09:45	09:50	00:05	
社会教育施設に「関係」のあふれた 情報提供機能を		09:50	10:00	00:10	
学習相談 十進法だけの世界からワ ンストップサービスへ		10:00	10:10	00:10	
カウンセリングとエンカウンター		10:10	10:20	00:10	
ストローク		10:20	10:30	00:10	「図書館活動の幅を広げる 学習相談サービス」
	休憩	10:30	10:45	00:15	

課題「学習相談サービス」 提出28日12:15

【図書館活動の幅を広げる学習相談サービス】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

集合学習:集会学習+集団学習 ICTと関連して

徳島大学高度情報化基盤センター『広報』第9巻 2003.12発行

西村美東士「人と学びのネットワークとしての情報教育」

<http://mito3.jp/seika/2290.txt>

社会教育では「集合学習」を「集団学習」と「集会学習」に区別している。集団学習では、ただ集まるだけでなく、学習者同士の関与(相互教育)が期待される。そして、学級・講座などは「集団学習」として位置づけられるのである。学内の「集合学習」もそうであってほしい。

また、ワークショップの特徴の一つとして「笑いが絶えない」が挙げられる。1台のパソコンを囲んで、5人程度のグループがわいわい騒ぎながら、何か成果物をつくりだす。そういう光景が学内のあらゆるところで見られるようになると楽しいだろう。

貸出用ノートパソコンを多数備えて、学内のすべての教育の場でコンピュータが使えるようにしておけば、それは実現可能と考える。

学習は本来個人的事象

「学習は本来個人的事象」であり、学習者自身が、自分のペースで、自らの興味や価値観、能力、レディネス(学習への準備状態)、背景となる体験、これまでの学習や訓練の機会といった要因に応じて達成していくものである。

「関係」のあふれた情報提供機能を

1984/10社会教育施設に『関係』のあふれた情報提供機能を
全日本社会教育連合会『社会教育』39巻10号、pp.73-77

<http://mito3.jp/seika/0210.pdf>

1「押しつけがましさ」の克服、2情報提供と「関係」、3人間的、生活的、全面的、今日的、「つながり」の情報、4地域情報・行政情報の提供、5カウンセリング・グループワークの位置づけ、6情報提供の個性化とシステム化、7情報の整理と提供がさらに認識を育てる、8社会教育施設が情報提供機能を発揮する役割。「押しつけがましさ」の克服と、人間的、生活的、全面的、今日的、そして「つながり」の情報提供の必要性を指摘した。

学習相談 十進法だけの世界からワ ンストップサービスへ

暮らしと仕事に関わる情報

前出懸賞論文より

「人間的」・・・人間が人間として求める、人間に関するナ
マの情報

「生活的」・・・人間が実際の生活から求める情報

「全面的」・・・人間が生きていく上での喜怒哀楽に関する
あらゆる情報

「今日的」・・・過去の資料よりも、人間が今、つきあたって
いる課題に関する、今の情報

「つながり」・・・一人一人の人間を基礎にしつつも、情報の
受け手が、それをもとに活動したり、他の人間とつな
がったりするための情報

カウンセリング

共感的理解 ロジャーズは、そのカウンセリング理論において、カウンセラーが患者に対して共感的理解をどこまでできるかを中心の一つにおいた。共感(シンパシー)とは、相手の言葉等を、その背後にある相手の準拠枠組ごと理解することである。それは「あたかも」相手と同じように感じることであって、自分の今までの枠組と「事実、同じだ」というときの同感とはまったく異なる。指導者は薬物依存の青年に対して、自分までいっしょに薬物を試みることによって彼に同感しようとする必要はないが、意識的な傾聴などによって共感的に理解しようとする必要がある。これによって、指導者自身の準拠枠組も相手とともに拡大、変化することになる。これが自己拡大であり、教育の根底的な目的でもある。すなわち、共感的理解のための意識的な努力によって、指導者も共に育つ(共育)のである。

『癒しの生涯学習』より <http://mito3.jp/seika/1470.txt>

エンカウンター

エンカウンター 遭遇。仮面や演技ではない出合いを意味する。そこには異なる枠組や価値観をもつ他者との出合いがある。自己疎外、人間疎外の現代社会においては、そういう出合いを意図的・意識的に創り出し、回復しようとする動きが見られる。これがエンカウンターグループである。ここでは、組織の奴隷としての時空間から離れた一時的な「文化的孤島」(1週間の合宿など)をメンバーの同意にもとづいて人口的に設定し、本音で出会うための構成的または非構成的なプログラムが提供される。しかし、自己決定の生涯学習、ボランティア、地域・市民活動においては、文化的孤島をことさら人口的に設定しなくても、メンバー同士のエンカウンターが期待できる。また、そういう自己決定のサンマの指導者には、毒にも薬にもならない仮面の社交辞令で無難にこなす技術よりも、共感的理解の努力のもとにエンカウンターする態度と意識が求められる。

前掲『癒しの生涯学習』より

ストローク

ストローク 交流分析の用語。「私はあなたの存在に気づいていますよ」と伝える行為。自分の時間を相手に与える愛の行為ともいえる。身体的(スキンシップ)、言語的(挨拶、励まし等)、非言語的(まなざし、うなずき、傾聴等)の3種、肯定的、否定的の2種、条件付、無条件の2種がある。ストロークなしでは生きていけないのは万人共通だが、その受け方、与え方にはそれぞれ特有の癖があるといわれる。また、「貧しいものはさらに貧しく、富めるものはますます富を増す」という言葉もあり、ストローク経済の法則と呼ばれる。ストロークは、上手な、あるいは悪い、ほめ方や叱り方にもつながるという意味からも、親や指導者にとって大切だが臨床的で難しい問題でもある。どんな種類のストロークがよいのかは一概にはいえないのである。「おまえなんかいなくたっていいんだ」などの無条件否定のストロークについては論外だが.....。

前掲『癒しの生涯学習』より

7月28日 13:00～14:30

社会教育指導者の役割 カン・コツ見える化のカン・ コツ	2 8 日	13 :0 0	13 :3 0	00 :3 0	
指導とは何か、企画者の対 講師支援の役割		13 :3 0	13 :4 5	00 :1 5	
ワークショップの場合 役 割提供、表現支援、受容、 課題解決、揺さぶり		13 :4 5	14 :3 0	00 :4 5	「図書館ボランティア 育成計画」
	休 憩	14 :3 0	14 :4 5	00 :1 5	

課題「ボランティア育成計画」 テストと一緒に提出

【図書館ボランティア育成計画】 番号・氏名→

【通信欄 質問・意見等あれば】

ラダーの必要性

千葉県・千葉市教員等育成指標から考える

千葉県・千葉市教員等育成指標

目標 信頼される質の高い教員の育成を目指して

「千葉県の教育の振興に関する大綱」「千葉市の教育に関する大綱」及び
第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」より

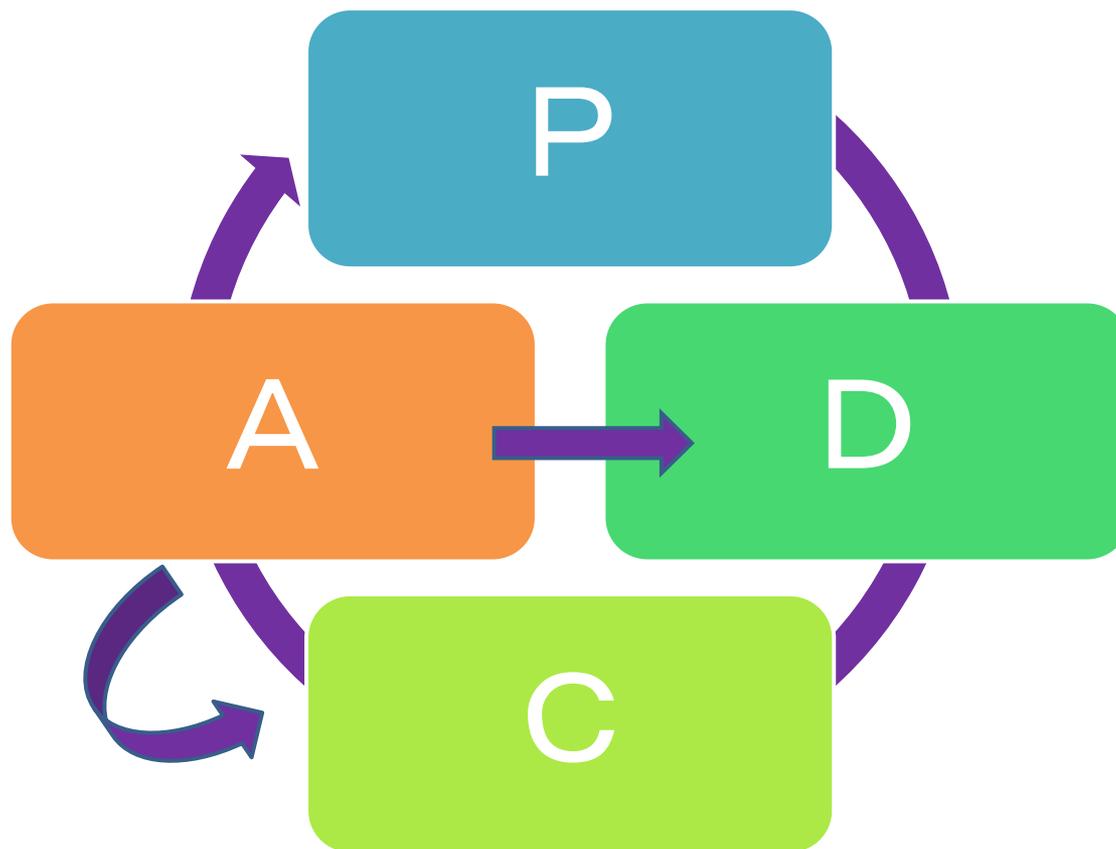
四つの柱	構成要素	養成段階	千葉県・千葉市が求める教員像	ステージⅠ 【成長期】 (学級経営、担当教科指導等) 学級・教科担任等としての 自覚と資質能力の向上	ステージⅡ 【発展期】 (学年経営、校務分掌主任等の ミドルリーダー) ミドルリーダーとしての 自覚と資質能力の向上	ステージⅢ 【充実期】 (学校運営等、職員全体へ 指導・助言) チーム学校をリードする 自覚と資質能力の向上
				教職に必要な素養	<ul style="list-style-type: none"> ○使命感 ○責任感 ○教育的愛情 ○高い倫理観 ○服務規律の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職の意義 ○教員の役割 ○教職への意欲 ○課せられる義務等
<ul style="list-style-type: none"> ○社会性 ○コミュニケーション能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員としての広い視野や教養等を身に付けるとともに、学び続ける意欲やコミュニケーション能力を育む。 	教育に関し、社会的・制度的事項やその意義、歴史等について理解するとともに、最新の動向に関し情報収集に努めている。				
<ul style="list-style-type: none"> ○広い視野 ○学び続ける意欲 ○社会の変化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育の理念・歴史・思想や社会的・制度的・経営的事項等についての基礎的知識(選択) 					
<ul style="list-style-type: none"> ○教職に関する教養 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領、幼稚園 					

クリニカルラダーとの比較

技術技能教育研究所 <http://ginouken.com/KangoShougai.html>

ラダーⅣ				計画的管理・後輩指導・看護研究の実践を中心とした統合的看護実践
ラダーⅢ			業務管理・人的管理・物的管理を中心とした高度な看護支援の実践	
ラダーⅡ		チームナースングを中心とした計画的看護実践		
ラダーⅠ	看護実践を中心とした確かな看護技術の習得			
経験年数	1~3年	4~8年	9~15年	16年~

PDCA=目標設定、達成方法設定、到達度評価、改善



資質・能力の構造化＝カリキュラム作成の技法 1

前掲自著「生涯学習と市民参加」より

資質・能力の構造化＝カリキュラム作成の技法

ここで、カリキュラム作成の技法としてクドバス(CUDBAS=CURriculum Development Method Based on Ability Structure、1990年、森和夫)について紹介したい。発足当時は生産現場等で活用されていたが、最近になって急激に国際的な広がりや、看護師のクリニカルラダー(看護実践能力を段階的に表した「はしご」)などでの深まりを見せ始めている。クドバスのマニュアルは、最新版がホームページで公開されており、5人程度のチームでそのマニュアルを読み上げながら作業を進めれば、「クドバスチャート」を作成することができる。

クドバスでは、該当ラダーのトップクラス3人、上がったばかりの人1人、上のラダーの該当者1人を標準的メンバーとする。最初に職業人としての課題を設定して共有する。適切な課題設定のためには、指導者の問題提起や揺さぶりがあれば、より望ましい。この課題に基づいて、メンバー一人一人が、自己内対話によって、「分解した能力」を書き出す。この「能力カード」を重要順に構造化した「クドバスチャート」をチームで作成する。このチャートをもとに、分解された能力を各科目の到達目標に組み込んで、各回の「本時の目標」に配分する。そのほか、各科目の各回のテーマ、方法、内容を設定する。これらの科目を段階順に並べたものがカリキュラムである。

資質・能力の構造化＝カリキュラム作成の技法 2

2015年、中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」では、「チームとしての学校」像は、「校長のリーダーシップのもと、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校」とされた。そして、学校の組織文化も含めて見直し、人材育成や業務改善等の取組を進めるよう提言された。

組織に帰属する一員として、メンバーと協働するという「組織文化」が求められているのである。そのときの「人材育成」が目指す達成目標は、現場の職員の参画により、職場特有の課題に基づき、特定の状況や変化に応じて、臨臨床的、帰納法的に整理する必要がある。これが「チームとしての人材育成」のあるべき姿といえよう。クドバスでは、単純な作業(オペレーション)は扱わない。ルーティンワークではなくて、たえず相手にあわせて自分の能力を発揮する場合は、クドバスは大いに力を発揮する。そこには、臨臨床的、帰納法的という存在価値がある。

それぞれの職場に存在するこのような未知及び既知の「能力構造」は、一般には整理されていないのが実情である。しかし、「必要能力」は職場の者なら誰でもわかっていることだ。それなのに、これを構造化するなんて大変なことだと多くの人が思っている。だが、それは「やっていないから」というだけであって、クドバスを使ってチームでワークを行えば、誰でも必要能力をほぼ網羅でき、その「能力構造」を明らかにすることができる。どんなベテランでも一人では、いくつか必要能力を挙げるだけにとどまってしまう。このようないわば「未知への挑戦」は、職場のチームにしかできないことである。

クドバスを活用したプログラム作成例

2005/3/9 西村美東士「クドバスを活用した子育て学習の内容編成－高校生の子をもつ親のために」聖徳大学生涯学習研究所紀要『生涯学習研究』3号、pp.41-54

<http://mito3.jp/seika/2370.pdf>

「職業能力分析」の手法を援用することにより、高校生の子をもつ親に求められる能力を分解してとらえた上でこれを構造化し、各科目の到達目標及び全体の「仕上がり像」が明示化された学習内容を編成して、学習プログラムを作成した。その結果、学習スケジュール作成の段階にあっては、比較的容易に、テーマごとの学習目標を明確に設定することが可能であることが明らかになった。

表2 ② CUDBAS必要能力・資質リスト「高校生の子をもつ親」(列・行ともに重要度順)

仕事	能力-1	能力-2	能力-3	能力-4	能力-5
1 前向きな態度を示す	1-1A 人生に対して前向きな態度がとれる	1-2A 人権を尊重する態度がとれる	1-3A 自分が間違っていたら子に謝ることができる(BBS)	1-4B 親自身がうまくいかないとき、ヒステリックでない態度がとれる	1-5B 家族旅行をしたとき楽しい態度がとれる
2 子の変化を待つ	2-1A ほっとしておくことができる	2-2A 子のプライバシーを尊重する態度がとれる	2-3A 知っていても知らない態度がとれる	2-4A 子を信頼することができる	2-5B 子にとっては家がわが家ではないことを知